

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
歴史総合	1	A B C D E F	2	必修修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	詳述歴史総合（実教出版）
使用教材等	詳述歴史総合徹底整理演習ノート（実教出版）、新詳歴史総合（浜島書店）

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史事象を多面的・多角的に考察したり、歴史の課題解決に向けて構想し、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】近現代の歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現にを視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	A 歴史の扉 【知】身近な地域に見られる諸事象が日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思】身近な地域に見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 【態】身近な地域に見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について理解し、それについて考察し表現しようとする態度を養う。 B 近代化と私たち 【知】近代化に伴う生活や社会の変容、貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【思】近代化に伴う生活や社会の変容と18世紀のアジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【態】近代化に伴う生活や社会の変容、貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解し、18世紀のアジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現しようとする態度を養う。	歴史と私たち 歴史の特質と資料 近代化への胎動 欧米の市民革命と国民国家の形成 アジアの変容と日本の近代化	【知】身近な地域に見られる諸事象が日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思】身近な地域に見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 【態】身近な地域に見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について理解し、それについて探究しようとしている。 【知】近代化に伴う生活や社会の変容、貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 【思】近代化に伴う生活や社会の変容と18世紀のアジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】近代化に伴う生活や社会の変容、貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解し、18世紀のアジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。
	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知】第一次世界大戦と戦後の国際協調体制、大衆社会の形成と社会運動の広がり、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について理解する。 【思】第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【態】二つの世界大戦と戦後の国際関係、社会や人々の生活の変化について理解し、多角的多面的に考查し、表現する態度を養う。	帝国主義の時代 第一次世界大戦と大衆社会 経済危機と第二次世界大戦	【知】第一次世界大戦と戦後の国際協調体制、大衆社会の形成と社会運動の広がり、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について理解している。 【思】第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】二つの世界大戦と戦後の国際関係、社会や人々の生活の変化について理解し、多角的多面的に考查し、表現しようとしている。
3	D グローバル化と私たち 【知】国際政治の変容、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会、市場経済の変容と課題について理解する。 【思】地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【態】歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解し、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたるなどとして、多面的・多角的に考察、構想し、表現する態度を養う。	冷戦と脱植民地化 多極化する世界 グローバル化と現代世界	【知】国際政治の変容、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会、市場経済の変容と課題について理解している。 【思】地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解し、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたるなどとして、多面的・多角的に考察、構想し、表現しようとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。